

取扱上のご注意

■温度について

時計を直射日光にさらしたり高温になる場所、また寒いところ等、温度差の激しい場所に長時間放置しないでください。進み・遅れ等の精度に支障をきたします。常温に戻れば精度は回復しますが、激しい環境は時計の寿命に影響しますので十分にご注意ください。

■ショックについて

ジョギング等の軽い運動程度のショックでは機械に影響はありませんが、キャッチボールやテニス等で生じるショックは出来るだけ避けてください。また、落下や激しい接触等のショックは与えないでください。

■磁気について

現代の日常生活においては、身の回りの電磁気製品を発生源とした磁界が多くあります。腕時計の部品には、銅が多く使われており、その部品が磁気を帯びると、大幅に遅れたり進んだり止まったりします。特に下記のような電磁気製品からは、5 cm以上離してご使用・保管をしてください。磁気帯びは物理的現象であり、時計の故障ではございません。

※時計の磁気帯び状態

一般的に5 Gauss未満ならば許容範囲で、精度は維持されると言われております。5 Gauss以上の帯磁があると、精度に狂いが生じると言われております。



■電池交換について

電池寿命は平均約2年ですが、最初の電池は工場出荷時に組み込まれたモニター電池ですので、電池寿命に満たないうちに容量が切れることがあります。電池切れの際は最寄りの時計店にて電池交換を行ってください。但し保証書期間内であっても電池は消耗品ですので有料となります。

■ネジ等の外装部品について

プレスレット等の外装部品に使用されているネジ類は、可動部分であるため年月とともに少しずつゆるんでいきます。メガネのネジがゆるむのと同じ現象ですので、定期的にネジ類の増し締めを行ってください。また、外装部品（プレスレット・革ベルト・裏フタ）等は使用中、常に人体に触れているため、汗・脂等の汚れが付着しやすい部分です。こういった汚れと空気中のほこり等のゴミが時計に付着すると外装部分の変色・欠落・破損や肌にかぶれ・かゆみが生じます。末長くご使用いただくためにも定期的なお手入れを行ってください。

■お手入れについて

ケースやブレスレット（革ベルト）等の外装部分は常に人体に触れているため、たいへん汚れやすい部分です。外装部に汚れ・汗・水滴がついているときは、吸湿性の良い柔らかな布で拭き取って常に清潔にしてください。特にピンクゴールドやイエローゴールドなどのメッキを施している時計については、汚れや汗、香水や化粧品、薬品などが付着したまま放置いたしますと、変色する恐れがあります。メッシュブレス・ブレスレットの汚れや目詰まりがひどいときは、水にうすめた石鹸水などにつけて、手や歯ブラシで洗い、その後必ず水洗いを行ってください。金、銀等の貴金属製品は空気に触れることで表面が化学反応をおこし黒く汚れます。汚れたままでご使用されますと衣類等に汚れが付着する場合がありますので、特に清潔な状態を保つようご注意ください。

※この時、防水時計以外は時計本体に水がかからないように十分ご注意ください。

■裏ブタのシールについて

ご購入時に時計の裏ブタに添付してあるシールは必ずはがしてご使用ください。シールがついたままでご使用されますとサビが発生することがあります。

■クリスタルストーンについて

時計本体に付いているクリスタルストーンは接着で留められている為、雨・汗・湿気・水分や高温、過度の衝撃が原因で接着剤に亀裂や劣化が生じ、クリスタルストーンが取れる場合がありますので十分ご注意ください。

■セラミック素材のお取り扱いについて

セラミックは傷がつきにくく、金属を含まないので肌への負担も少ない、優れた特性を持つ素材ですが、高硬度の為、固い物にぶついたり、落下等の衝撃が加わると割れる恐れがあります。また、急激な温度変化も破損の原因となりますので、お取り扱いの際は十分ご注意ください。なお、外的な要因による破損は保証対象外となりますので、予めご了承ください。



○お客様の体質によっては、かゆみ・かぶれが生じる場合がありますので、皮膚に異常を感じた時はご使用をお止めいただき、専門医にご相談ください。

- 汗や汚れが付着したまま使用しますと、サビなど衣類への汚れの原因になる恐れがあります。また、洗浄もこまめに心掛けてください。
- 力仕事や激しいスポーツをする時、就寝時や幼児の世話をする時など、身体に危害を及ぼす場合がありますのでご注意ください。

■防水性について

一般的に時計は非防水・日常生活防水・完全防水と大別されます。日常生活防水には、3気圧防水、5気圧防水などの分類があります。3気圧防水は汗・はねた水滴の付く程度（水圧のかからない状態）、5気圧防水は3気圧防水をやや強化したのですが、実際に30Mや50M潜れる訳ではなく、水に浸すこととなる素潜りや水泳には適しません。防水性を表す数字は水圧を表しており、水道の蛇口から出る水などは水圧が高く、水のかかり方によっては日常生活防水の時計でも水が侵食する場合があります。

また、防水性は年月とともに劣化します。電池交換時などに合わせて、定期的な防水検査をお勧めします。（時計の防水性を保つパッキンが、長期間の使用により温度や水分や汚れなどの影響を受け、弾力性が失われて防水性が低下する為）

防水時計であっても、その防水性以上の水圧がかかった場合は水の浸食により故障となります。水の浸食による故障は、その大半が修理不能となり保証も適用されません。お持ちの時計の防水性を必ずご確認の上、ご使用には細心の注意をお払ください。

○ネジ込み式リューズは完全に締めてからご使用ください。ダイビング・水泳・水仕事などでのご使用の前にリューズの締め具合を確認してからご使用ください。リューズがゆるい場合には、防水機能がきかず、水の浸食の原因になります。

○ストップウォッチに関して

水中や水滴のついたままでのストップウォッチ操作は出来ません。水の浸食の原因となります。

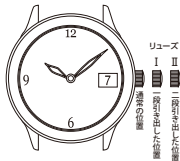
使用例		汗・はねた水滴 がつく程度 (水圧のかから ない状態)	雨や水が かかる程度 (極端な水圧の 変化がない状態)	水泳など 直接水が かかる程度 (プールでの水泳程度)	ダイビング (空気ボンベを 使用しないもの) およびマリン スポーツ	水滴が付いた 状態で リューズの操作
仕 様	非防水	×	×	×	×	×
	3気圧 (3ATM,30M)	○	×	×	×	×
	5気圧 (5ATM,50M)	○	×	×	×	×
	10気圧 (10ATM,100METER)	○	○	×	×	×

クォーツ時計（電池式）

■時刻と日付の合わせ方

日付付きの時計は、リューズを二段式に引き出すようになっています。
一段引き出した位置（図：Ⅰの位置）でリューズを回すと日付が一日進みます。
時刻を合わせるときは、リューズを二段引き出した位置（図：Ⅱの位置）で行ってください。

※カレンダーの付いていない時計はリューズを一段または二段引き出してから回せば、時刻を合わせる事ができます。合わせ終わりましたら、必ずリューズを通常的位置に戻して下さい。



注意事項

- ①午後9時から午前3時まででは、**日付調整を行わないでください。**
この時間帯は、日付を変更する歯車がかみ合っている時ですので、無理に調整されると歯車が破損し、正しい時間帯に日付調整がおこなわれなくなる事がございます。日付調整をされる時は、必ずこの時間帯に針を動かしてから調整してください。日付・時刻を合わせた後は、必ずリューズをもとの位置に戻してください。もとの位置に戻さずにご使用されると、水・湿気などが入り故障につながります。
- ②防水タイプ（100メートル防水以上）の場合は、リューズがネジ込み式になっているモデルもありますので、リューズを6時方向（手前）に回してネジをゆるめてから日付・時刻の修正をしてください。修正が済みましたら、リューズを12時方向にネジが回らなくなるまでしっかりねじ込んでください。（※リューズが左にある場合は、表記と逆方向に回して下さい。）
- ③月末が短い月（2、4、6、9、11月）は、翌月1日にその分だけ日付表示がずれますので、合わせてご使用ください。

マルチファンクションの使い方

■時刻と日付、曜日の合わせ方

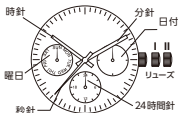
1. リューズを1段引き出した状態(図:Iの位置)で時計回りに回すと日付針が進みます。

※商品型番: TT33/WS33/LU33 に関しては、反時計回りに回すと日付針が進みます。

2.2段引き出した状態(図:IIの位置)で回すと時刻を調整できます。その際に曜日も進みます。2日以上曜日を進めたい場合は、「曜日早送りの方法」をご参照ください。

※24時間針は時・分針と連動しておりますので、調整はできません。

3. 合わせ終わりましたら、リューズを通常的位置に必ず戻して下さい。



曜日早送りの方法

時刻調整で針を進めて曜日が変更されたら、そのまま午前3時まで針を進め、その後逆にリューズを回して午後11時まで針を戻します。これを繰り返すと曜日の針が早送りできます。

注意事項

4ページの注意事項①～③を合わせてお読みください。

回転ベゼルの使い方

回転ベゼルのマ印(0の位置)を目印にすることで、あらかじめ分針又は時計に合わせておくと経過した時間がわかり、目標時刻に合わせておくと残りの時間がわかります。駐車時間、歩行時間、乗物の発車時刻までの残り時間・約束時間の目標など、広範囲に利用できます。

※誤動作防止の為基本的に逆回転防止となっています。



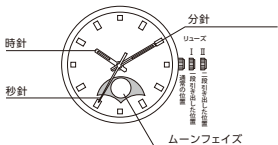
経過時間
9時10分から10分経過して
いることを示します。

残り時間
9時25分まで20分残って
いることを示します。

ムーンフェイス(月齢)の使い方

■時刻の合わせ方

1. リューズを2段引き出した状態(図:IIの位置)でリューズを回すと時刻を調整できます。
2. 合わせ終わりましたら、リューズを通常的位置に必ず戻してください。



■ムーンフェイス(月齢)の合わせ方

1. リューズを1段引き出した状態(図:Iの位置)で、リューズを時計回りに回すと月齢表示を調整できます。
2. 合わせ終わりましたら、リューズを通常的位置に必ず戻してください。

月齢の見方

月齢は各新月の間の期間(およそ29.5日)を表します。

朔 (New moon) 月齢:0 大潮	上弦 (First quarter moon) 月齢:約7 小潮	満月 (Full moon) 月齢:約15 大潮	下弦 (Last quarter moon) 月齢:約22 小潮

※ムーンフェイスは月齢を表しており、実際の月の形とは異なります。月の満ち欠けや月齢の目安としてご利用ください。

※月齢を設定する際は、新聞等より当日の月齢をご確認になり設定してください。朔(New moon)または満月(Full moon)のときに設定されると、より正確に合わせる事ができます。

ソーラーウォッチ時計（ソーラー充電式）

★この時計は、文字板面にソーラーセルを配し、光エネルギーを電池エネルギーに変換して時計を駆動させる、アナログソーラーパワー時計です。

■ご使用になる前に

十分に光を当てて充電してからご使用ください。

この時計には、電気エネルギーを蓄えるため二次電池が使われています。

この二次電池は水銀などの有害物質が一切使われていないクリーンエネルギー電池です。

一度フル充電をすると、約6ヶ月間は充電しなくても時計は動き続けます。快適にこの時計をご使用いただくためには、常に余裕をもって充電することを心がけてください。この時計はどんなに充電しても過充電の心配はありません。（過充電防止機能付き）

毎日の充電を心がけてご使用されることをおすすめいたします。

時計を外した時も、出来るだけ明るい場所に置くように心がけると、時計は常に正しく動き続けます。日常、長袖などを着用していると、時計が隠れて光に当たらないため充電不足になりやすいのでご注意ください。

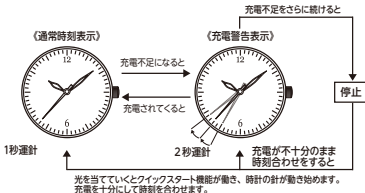
■時刻の合わせ方

- ①リュースを1段引き出し、Iのポジションにします。
- ②リュースを回して時刻を合わせます。
- ③合わせ終わりましたら、リュースを通常的位置に戻します。



■ソーラーパワー時計特有の機能について

この時計は充電不足になると、以下のような警告機能が働いて、表示が切り替わります。



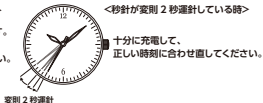
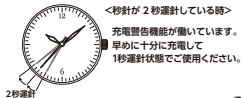
充電警告機能

秒針が2秒運針をして充電不足を知らせます。この時も時計は正確に動いていますが、2秒運針を始めてから約1日経過すると時計は停止してしまいます。光を当てて充電し、元の1秒運針に戻してください。

クイックスタート機能

充電が全くされていないと時計は停止してしまいます。光を当てると、約10秒で時計の針が動き始めます。(機種や光の明るさによって、針が動き出すまでの時間は異なります。)但し、この時に光を遮ると充電が十分でないため、時計は再び停止してしまいますのでご注意ください。

このような場合には・・



■充電時間の目安

文字板の色によっては充電時間が異なります。あくまで目安としてご利用ください。

※充電時間は連続照射時間です。

※フル充電時間・・・時計が停止している状態から最大に充電されるまでの時間

※1日分の充電時間・・・時計を1秒運針で1日動かすのに必要な時間

フル充電時 約6ヶ月間駆動

照度 lx(ルクス)	環境	止まってから1秒運針 までの充電時間	1日分の 充電時間	フル充電時間
700	明るめの屋内照明	約45時間	約2時間	—
3,000	蛍光灯(30W)の下20cm	約10時間	約28分	約85時間
10,000	曇天	約3時間	約8分	約25時間
100,000	夏の日の直射日光下	約25分	約2分	約4時間

⚠ ソーラーパワー時計取り扱い上の注意

充電上の注意

- ・充電の際に時計が高温になると、故障の原因となりますので、高温下(約60℃以上)での充電は避けてください。
- ・白熱灯で充電する時は、必ず50cm以上離して、時計が高温にならないように注意して充電してください。

二次電池の交換について

- ・この時計に使われている二次電池は充電を繰り返し行えるため、従来の一次電池のように定期的な電池交換の必要はありません。但し、長時間使用されますと、歯車の汚れや油切れ等により電流消費が大きくなり、二次電池の容量が早くなります。定期的な分解掃除(有料)をおすすめします。
- ・お客様ご自身で、時計から二次電池を取り出さないでください。

保証規定

時計をご使用中、正常なご使用状態で自然故障を生じた場合は、下記保証規定により、お買い上げ日より1年間無料修理を行います。

■保証の対象になる部分

クォーツ時計の内部部分(電子回路、駆動系機械部分)、機械式時計の内部部分(駆動系機械部品一式)、ただし電池、革ベルト等の消耗品、ケース、プレスレット類の小キズ、汚れやガラスの破損による外観の変化は除きます。

■保証方法

修理・調整を原則といたします。修理の際、ガラス・ケース・文字盤・針・バンドなどは、一部代替品を使用させていただく場合がありますのでご了承ください。

■保証を受けるための条件

修理・調整の際は必ず現品に保証書を添えてお買上げ店にご持参ください。なお、保証書が添えてあってもお買上げ店名及び購入日の記載のないものは無効とさせていただきます。

■保証の適用除外

保証期間中であっても次の場合は有料修理となりますのでご注意ください。

- 誤ったご使用、お客様自身による修理、改造または、お取扱いの不注意による故障。詳しくは取り扱いの項をご参照ください。
- 保証書の提示がない場合。
- 保証書にお買上げ店名、ご購入日の記載のない場合。また、保証書の記載事項に訂正のある場合。
- 天災、火災、事故による故障、破損の場合。

※保証書は上記保証規定により無料修理を保証するもので、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証は日本国内のみの適用とさせていただきます。

革ベルトの交換

一部の商品は替え革ベルトが付属しており、用途に応じて付け替える事が可能です。革ベルトの裏側にあるバネ棒に小さなポッチが付いています。このポッチをスライドすることによってバネ棒が伸縮し、取り外しが可能になります。取り付ける際には右側から先にケースの穴にバネ棒を差し込んでいただき、その後ポッチをスライドさせつつ左側を差し込んでください。



右にスライドさせる

ベゼルの交換

一部の商品は替えベゼルが付属しており、用途に応じて付け替える事が可能です。ベゼル部分がねじ込み式になっておりますので、ベゼルの反時計回りに回すと、ベゼルの取り外しが可能です。取付の際は時計回りにベゼルのねじ込んでください。



ベゼル取り外しの場合

ベゼル取付けの場合

製造発売元

株式会社ウエニ貿易
ウエニ貿易タイムピース株式会社

〒110-0008 東京都台東区池之端 1-6-17

時計事業部直通：TEL.03-5815-5701 FAX.03-5815-5301

サービスセンター

東京都台東区池之端 1-6-13 境会館 2階

TEL.03-5842-1159 FAX.03-5815-8202

最新情報はこちら ▶ www.ueni-angelheart.jp